

平成22年度 第10回教育研究評議会議事録

日時 平成23年2月16日(水) 14時30分～17時20分
場所 事務局大会議室・工学部大会議室(テレビ会議)
出席者 伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、杉山、佐藤、寺村、今野、山本、梅澤、國宗、荒川、酒井、西原、村井、青山、増田、東郷、佐古、竹内、高木、鈴木、渡邊修、永津、渡邊尚、田中、三村、加藤の各評議員
欠席者 船橋評議員
陪席者 大戸、塩田の各監事
中村、太田、佐藤の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成22年度第9回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

- 1 国立大学法人静岡大学学則の一部改正について
- 2 静岡大学保健管理規則等の一部改正について

杉山委員及び総務部長から、創立記念日の条文化及び「保健管理センター」を「保健センター」に名称変更すること等に伴う学則及び保健管理規則等の一部改正について、資料1・2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、委員から、授業の休業日として規定されている土曜日及び夏季休業時に授業が開講されており、実態と合致していないとの指摘があったが、議長から、これについては、学則第26条第3項で対応したいとの発言があった。

(一部改正する規則等)

教育研究評議会に関する申合せ

静岡大学評価規則

データベース利用規則

静岡大学公開講座規則

静岡大学遺伝子組換え実験安全管理規則

静岡大学放射線障害予防規則

静岡大学放射線障害予防規則施行細則

静岡大学教育研究用エックス線装置等エックス線障害防止規則

静岡大学ヒトを対象とする研究に関する規則

静岡大学事務組織規程

静岡大学外国人研究者受入規則

静岡大学におけるハラスメントの防止等に関する規程

静岡大学における研究活動上の不正行為に関する取扱規則

静岡大学法人文書管理規程
静岡大学情報公開取扱規則
静岡大学個人情報管理規則
静岡大学個人情報開示請求等に関する取扱規則
静岡大学文書処理規則
静岡大学文書決裁規則
静岡大学公印管理規則
静岡大学防火管理規則
静岡大学研究費等管理規則
静岡大学自主防災規則
地域連携協働センター規則
静岡大学理学部放射線障害予防規程
静岡大学学生支援センター規則
静岡大学学生支援センター内規
静岡大学ソフトウェア管理規則
特別資格調整手当支給細則
教職員懲戒手続細則
教職員労働安全衛生管理規程

3 平成23年度年度計画（案）について

浅利委員から、平成23年度年度計画（案）について、資料3により説明があり、計画の妥当性及び遂行の可能性等を検討の上、意見があれば2月末日までに寄せてほしいとの要請があった。

なお、本件については、次回本会議で審議することとした。

（意見交換で出された主な意見等）

- 全学の重点事項と学部重点事項がわかるような形式を検討してほしい。

4 カリキュラム改革の基本方針について

石井委員から、カリキュラム改革の基本方針について、資料4により説明があり、次回以降も継続審議することとした。

（意見交換で出された主な意見等）

- パッケージ、履修モデルを示すことは、授業科目を増やすことになり、教員数が減少する中で対応することは可能か疑問である。
- パッケージ、履修モデルの総数をしぼり、必修、選択必修にしないモデルを示しているとの認識なら問題は少ない。ただし、専門教育も含まれるのかどうか明確でない。
- 学士教育をどうするのか、基本的な方向を示してほしい。
- 学部コアの部分と全学共通の部分の弾力化を行いたい。
- 入試改革（入試科目のあり方）の議論との関係はどうするのか。
- 学部卒業単位を124単位に統一する場合に、語学は1単位にするの

- か。→ 検討することは重要である。
- 全学教育科目の履修幅を24単位から42単位まで拡大する場合は、個人で選択するのか。→ 個人で選択する。
 - 色付け教員の弾力化で、語学の教員を専門科目の教員にできるのか。→ 色づけ教員のあり方については、大学教育センターの改革を含め検討していくこととしたい。
 - 7月までに意見の掌握が可能か疑問である。
 - 当該方針等の検討はWGを設置して議論していくのが良い。→ 教育企画室で行う。

5 男女共同参画推進室の特任教員の雇用について

議長から、男女共同参画推進室の特任教員の雇用について、教育研究評議会の下に置いた人事委員会において、資料5のとおり選考したので審議願いたい旨提案があった。

柳澤委員から、応募状況、選考理由等の説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 卓越研究者および若手重点研究者制度の導入（案）について

碓氷委員から、卓越研究者および若手重点研究者制度の導入について、資料6により説明があり、審議の結果、インセンティブ付与について、一部修正することとしたほか基本的内容について了承した。

III 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、第10回企画戦略会議（H23.2.9）について、資料7により報告があった。

2 経営協議会報告

議長から、第5回経営協議会（H23.1.28）について、資料8により報告があった。

3 学長選考会議報告

村井委員（学長選考会議副議長）から、学長選考会議における学長の任期変更等にかかる審議結果について次のとおり報告があった。

- 学長の任期を4年とすること。
- 再任については、継続性をもった施策遂行や次期学長への引継ぎ等のため、一定の期間が必要であるが、その任期は「4年」ではなく、中間での評価を行う必要性も考慮し、「2年」を区切りとして2回まで可能とすること。
- 現学長の任期については、現行どおり3年とし、再任については改正後の規定により、2年任期で2回まで再任可とすること。

なお、12月の教育研究評議会において、委員から学長候補者の推薦に必要な推薦者の数（10人以上）が多いのではないかとの意見があったことについては、学長選考会議で審議した結果、推薦する教職員等が複数の部局にわたることが想定され、かつ、本学の教職員数等から判断し、「10人以上」は適正な人数であるとの結論に至ったとの報告があった。

4 就業規則の一部改正について

総務部長から、就業規則の一部改正等について、資料9により報告があった。

5 教員採用等報告について

議長から、資料10により、情報学部3名及び工学部1名の教員採用の報告があった。

6 叙位・叙勲について

議長から、名誉教授（教育学部）伊藤二郎氏が従四位、名誉教授（教養部）赤岩總雄氏が正四位を受章されたことについて、資料11により報告があった。

IV その他

1 教育実践高度化専攻（教職大学院）公開成果発表会について

2 附属図書館浜松分館の改修に伴う休館等のお願いについて

3 「発達障害のある学生への支援」講演会について

4 就業力育成支援事業「海外留学をキャリアに活かそう！」について

5 平成22年度静岡大学学内FDシンポジウムについて

6 ナノバイオシンポジウムについて

7 留学生交流支援制度について

上記事項について、各担当委員から資料12～資料18により説明・案内があった。

8 その他

議長から、臨時教育研究評議会を2月23日（水）テレビ会議、第11回教育研究評議会を3月16日（水）事務局大会議室で開催する旨発言があった。

以上